

京都府 舞鶴市

アライグマ連続シンポジウム2012

舞鶴市のアライグマ：現状・対策とアライグマの感染症リスクをどのように回避するか



2012年 9月1日(土)

日時：2012年9月1日12:30-16:30

場所：京都府舞鶴市字北吸1039-2

赤れんが2号棟(舞鶴市政記念館)

主催：関西野生生物研究所

共催：舞鶴市・生物多様性JAPAN

参加無料 お申し込み無しで入場できます

お問い合わせ：関西野生生物研究所

075-551-3936 090-6076-7655 まで

このシンポジウムは平成24年度経団連自然保護基金と
平成24年度独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて開催されます

今、日本各地でアライグマの出没が大きな問題になっています。アライグマによるスイカやトウモロコシなどの農作物への被害、自然生態系への被害、文化財や民家への侵入被害問題もありますが、アライグマは狂犬病や寄生虫症などの人へ危害を及ぼす感染症を運ぶ可能性があります。もし、万一、狂犬病や寄生虫症を持ったアライグマが侵入してきたら、私たちはどのように、そのリスクを回避できるか、今のうちにしっかりと考えてゆかなければなりません。特に舞鶴市は貿易港として各国からたくさんの船がやってきます。その船に動物が乗っていて、こっそりと上陸したら、それらの動物とアライグマが接触したら、危険な病気が拡がるかもしれません。このシンポジウムでは全国のアライグマの現状、舞鶴市のアライグマの拡がり、舞鶴市の取り組み、アライグマ寄生虫症のリスク、狂犬病のもたらすリスク、アメリカでの狂犬病対策の実例について話題提供いただきます。

プログラム

総合司会 川道武男氏 (関西野生生物研究所)

12:30-12:40 開会挨拶 舞鶴市

第1部——アライグマの現状と舞鶴市の対策

12:40-12:55 日本のアライグマの現状

金田正人氏 (関西野生生物研究所)

12:55-13:10 舞鶴市の社寺へのアライグマ侵入状況

川道美枝子氏 (関西野生生物研究所)

13:10-13:25 舞鶴市のアライグマ対策の現状

舞鶴市 曾根章嘉氏

(舞鶴市産業振興部農林課 有害鳥獣対策係)

第2部——寄生虫や狂犬病のリスクを考える

13:25-13:55 外来種アライグマにおける寄生虫疫学と宿主-寄生体関係の生態学

浅川満彦氏 (酪農学園大学獣医学部教授 兼 同大野生動物医学センター施設担当)

14:05-16:05 アメリカの狂犬病対策とアライグマ Dennis Slate 氏

(Science Advisor for the USDA Rabies Management Program)

逐語訳通訳 高橋満彦氏 (富山大学)

16:05-16:25 質疑

16:25-16:30 閉会挨拶 関西野生生物研究所



交通：JR 舞鶴線東舞鶴駅から
京都交通西舞鶴行きバス
で5分、市役所前下車すぐ
駐車場あります。

